

長期戦略:テーマ 「個別研究の活性化」

提出日 2019年 8月 28日

担当部署

II.実施計画帳票

長期戦略テーマの責任者 (統轄部署)	長峯研究推進社会連携機構長 (研究推進社会連携機構)	実施計画の 担当部署	研究推進社会連携機構
-----------------------	-------------------------------	---------------	------------

1. 実施計画

実施計画(タイトル)	取組開始	達成状況 確認年度	学部・研究科での 取組み有/無	帳票
3-(1)-③ 研究実績を評価する仕組みの構築	(2019)年度	(2021)年度	必要なし	不要
内容 <p>日々多様な価値観のもとで実施されている本学の研究活動を網羅的に評価する仕組みを構築することは難しい。しかし、限られた資源を機械的に均等配分することは、必要とされる資源が適切に配分されないという問題を常に内包する。本実施計画項目で検討する「研究実績の評価」とは、長期戦略で定められた指標の達成を目指した特定の価値観に基づく学内資源の配分を目的とするものであり、研究の本質的な優劣を決定するものではない。その一方で過度に狭い評価の視点とならないよう留意が必要である。</p> <p>(2019年度)他大学の事例収集 (2020年度)他大学の事例を参考とし、論文産出や科研費獲得、学外資金導入実績、研究発表、受賞歴等の評価要素を検討する (2021年度)各評価要素におけるデータの収集方法の整備・制度化を検討・実施する。 (同)収集データの分析は「実施計画 3-(1)-④研究力分析ツールの活用方法の検討」と連動し、統合可能性を検討する。</p>				
進捗状況を測る指標	指標名	定義・算式		
指標1	本学独自の研究実績評価システムが構築できたか	長期戦略の指標達成を主眼に置いた研究実績評価体制が構築されたか否か		
指標2				
指標3				

目標1<指標1> 本学独自の研究実績評価システムが構築できたか

	(2019)年度	(2020)年度	(2021)年度	4年目以降
目標	他大学の事例収集	評価要素の検討・策定	各評価要素に応じたデータの収集・分析体制の構築	導入・実施
実績				

目標2<指標2>

	()年度	()年度	()年度	4年目以降
目標				
実績				

目標3<指標3>

	()年度	()年度	()年度	4年目以降
目標				
実績				

2. ロードマップ

		2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
本学独自の研究実績評価システムの構築	策定段階	他大学情報収集	評価要素の検討・策定	各評価要素に応じたデータの収集・分析体制の構築	導入・実施	実施
	2020 年 3 月 末段階	—	—	—		
		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	—
	策定段階	実施	実施	実施	実施	
	2020 年 3 月 末段階					
		2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
	策定段階					
	2020 年 3 月 末段階					
		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	—
	策定段階					
	2020 年 3 月 末段階					

3. 費用計画・人員計画

【費用・人員を必要とする理由】				
非公開				
経費 単位:万円	()年度	()年度	()年度	4年目以降
非公開				
人員・人件費 単位:万円	()年度	()年度	()年度	4年目以降
非公開				

4. 進捗状況・得られた成果

2019 年度	
() 年度	
() 年度	

5. 今後の課題及び方向性

2019 年度	本項目における評価は、学内資源の配分が目的となっている。実施計画帳票 3-(1)-②で示したように、限りある学内資源の投資が消費に転化することを避けるという意図から、資源配分は過去への報償ではなく未来への投資であると規定する必要がある。従って、研究実績の評価及び分析のためには、当該研究が獲得資源の拡大・研究成果の質的向上につながるかどうかの方向性・可能性の把握（技術的な意味合いを含めて）に努めることが重要である。
(2020) 年度	
(2021) 年度	

6. 学院総合企画会議の基本方針

2019 年度	—
2020 年度	
() 年度	